

むずかしい漢字とことば

環境省(かん・きょう・しょう) 絶滅危惧種(ぜつ・めつ・き・ぐ・しゅ) = 絶滅のおそれのある生物種 傾向(けい・こう) パック詰(づ)め 含(ふく)めて 指摘(し・てき) 違法(い・ほう) 看過(かん・か) = あることを目にしていながら、そのままほうっておくこと。見逃すこと 規制(き・せい) = 決まりをつくって活動を制限すること 漁獲(ぎょ・かく) 養殖(よう・しょく) 据(す)え 状況(じょう・きょう) 枠(わく) 放棄(ほう・き) 免(まぬか)れ 薄利多売(はく・り・た・ばい) = 値段を安くして、たくさんの品物を売ってもうける売り方 扱(あつか)い 販売(はん・ばい) 履歴(り・れき) = その人がこれまでに経験してきたことから。経歴 恐(おそ)れ 違法(い・ほう) 示唆(し・さ) = それとなく教えること 締約(てい・やく) = 条約や契約(けい・やく)を結ぶこと。また、その条約や契約 透明(とう・めい) 契機(けい・き) = きっかけ、動機

核心 評論

2013年に環境省が二ホンウナギを絶滅危惧種に指定してから5年。ウナギの減少傾向は深刻だ。にもかかわらず今夏も土用の丑の日にはパック詰めのかば焼きがスーパーに大量に並び、専門店はもちろん、コンビニやファストフード店を含めて大量のウナギが消費される姿は変わらない。専門家から不十分だと指摘される水産庁の資源管理方針に改善は見られ

丑の日のウナギ

ワシントン条約規制を

ン条約の国際取引規制の対象とし、国内の漁業と取引にも同様の規制を導入するといふ強力な対策が必要だ。水産庁などによると、今期のシラスウナギの漁獲量は8・9斗で、13年に次ぐ低レベル。中国、台湾などの漁獲も少なく、回復の兆しはない。だが、水産庁が資源管理策として定めている養殖池に入れるシラスウナギの量の上限は21・7斗にと5年連続で据え置かれた。この間、実際の池入量がこの上限に達したことはなく、今年に至っては上限の3分の2だ。規制は何の意味もなさず「シラスウナギ取り放題」の状況が続いている。今やウナギ資源は大量に消費され、絶滅の恐れがある野生生物に関するワシントン条約でも重

ず、違法取引が横行する実態も変わらない。これ以上、ウナギの危機が深まるのを看過し続けることは許されない。二ホンウナギをワシントン条約の国際取引規制の対象とし、国内の漁業と取引にも同様の規制を導入するといふ強力な対策が必要だ。水産庁などによると、今期のシラスウナギの漁獲量は8・9斗で、13年に次ぐ低レベル。中国、台湾などの漁獲も少なく、回復の兆しはない。だが、水産庁が資源管理策として定めている養殖池に入れるシラスウナギの量の上限は21・7斗にと5年連続で据え置かれた。この間、実際の池入量がこの上限に達したことはなく、今年に至っては上限の3分の2だ。規制は何の意味もなさず「シラスウナギ取り放題」の状況が続いている。今やウナギ資源は大量に消費され、絶滅の恐れがある野生生物に関するワシントン条約でも重

持続的な消費へ不可欠

要な議題だ。条約の委員会には、日本国内外でシラスウナギの密漁や無報告漁業、違法取引が横行していることを示唆する報告書が提出された。世界最大のウナギ消費国の責任から、日本政府こそが、来年の締約国会議で二ホンウナギをワシントン条約の規制対象種にするよう提案し、透明性が高く、持続的なウナギ消費実現の契機とすべきなのだが、今の水産庁にそれは期待できない。消費者や業界関係者が声を上げ、政治家がリーダーシップを発揮することを期待したい。(共同通信編集委員 井田徹治)



今年の土用の丑の日に、あなたはウナギを食べましたか。ウナギの消費が多い日本にとって、ウナギは欠かせませんが、現在ウナギは希少価値のある食材となっています。なぜ漁獲規制があるのに改善されないのか、身近な食材でもあるウナギについて考えてみましょう。また、このことについて友達とも語り合ってみましょう。

【問1】2013年環境省は、二ホンウナギを何に指定しましたか。

絶滅危惧種

【問2】【問1】のことによって、ウナギの消費はどうなりましたか。

(大量に)消費される姿は変わらない

【問3】水産庁によると今期のシラスウナギ(ウナギの稚魚)の漁獲量は減少傾向にあります。二ホンウナギが絶滅危惧種となった背景の一つをかきましよう。

加工済みのウナギがスーパーなどに出回るようになり、大量生産・(**大量消費**)、
(**薄利多売**)のウナギビジネスが定着したから。

【問4】二ホンウナギの絶滅を防ぐためにどのような対策をとればよいと書かれていますか。それぞれの視点で答えましよう。

消費者・・・(**「安いウナギをたくさん食べたい」という意識を捨てること**)

業者・・・(**取り扱いをやめたり、販売量を減らしたり、生産履歴が明確なものだけを扱うこと**)